



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 イーグル工業株式会社

コード番号 6486 URL <http://www.ekkeagle.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鶴 鉄二

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務本部長 (氏名) 池田 澄男 TEL 03-3438-2291

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	72,099	7.9	8,322	28.0	9,923	33.1	6,165	38.3
27年3月期第2四半期	66,816	13.7	6,503	14.6	7,454	8.4	4,459	19.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 4,548百万円 (△30.5%) 27年3月期第2四半期 6,547百万円 (△4.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	127.59	—
27年3月期第2四半期	92.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	157,559	77,237	44.1	1,431.45
27年3月期	156,443	74,786	42.2	1,366.47

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 69,459百万円 27年3月期 66,018百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

配当予想の修正については、本日（平成27年11月10日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	145,000	5.0	15,000	3.5	17,000	1.5	11,000	15.7	227.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	49,757,821株	27年3月期	49,757,821株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,234,183株	27年3月期	1,444,635株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	48,326,601株	27年3月期2Q	48,256,930株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は（添付資料）P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済情勢は、中国経済の減速が鮮明となり、8月の人民元の切り下げを契機として、その影響は世界の主要株式市場に及びました。米国では引き続き実体経済の回復基調が持続しましたが、欧州経済は依然低い成長ペースにあり、アジア新興国経済も緩慢な成長にとどまるなど、総じて不透明感が高まる状況となりました。

日本経済は金融緩和政策を背景に緩やかな回復は持続していますが、中国経済の減速とそのグローバル経済への波及の懸念から景況感にやや霧りがでる状況となりました。

このような経済環境のもと、当社事業においては各セグメントにおいて堅調に推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は720億99百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は83億22百万円（前年同期比28.0%増）、経常利益は99億23百万円（前年同期比33.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は61億65百万円（前年同期比38.3%増）となりました。

セグメント別の事業状況は次のとおりであります。

[自動車・建設機械業界向け事業]

当事業は、建設機械向け製品が中国市場の低迷を主因に伸び悩みましたが、自動車向け製品の販売が北米を中心に堅調に推移したことにより、当セグメントの売上高は430億18百万円（前年同期比3.3%増）となりました。営業利益は43億72百万円（前年同期比7.2%減）となりました。

[一般産業機械業界向け事業]

当事業は、国内・海外での販売が堅調に推移したことから、当セグメントの売上高は170億3百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は19億43百万円（前年同期比146.0%増）となりました。

[船用業界向け事業]

当事業は、新造船向け製品の販売及び交換部品需要が堅調に推移したことにより、当セグメントの売上高は77億45百万円（前年同期比25.6%増）、営業利益は19億71百万円（前年同期比65.8%増）となりました。

[航空宇宙・光工学業界向け事業]

当事業は、航空宇宙関連製品及び光工学業界向け製品の販売がともに増加したことにより、当セグメントの売上高は43億33百万円（前年同期比30.7%増）、営業利益は14百万円（前年同期は営業損失1億92百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

当第2四半期連結会計期間末の資産は1,575億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億15百万円増加いたしました。これは主として投資有価証券が12億58百万円、有形固定資産が5億36百万円、現金及び預金が3億79百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が6億12百万円、その他の流動資産が4億3百万円減少したことによるものであります。

[負債]

当第2四半期連結会計期間末の負債は803億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億35百万円減少いたしました。これは主として電子記録債務が55億20百万円、短期借入金が増加した一方、その他の流動負債が62億50百万円、買掛金が13億2百万円減少したことによるものであります。

[純資産]

当第2四半期連結会計期間末の純資産は772億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億51百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金が49億58百万円増加した一方、為替換算調整勘定が18億2百万円、非支配株主持分が9億89百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月12日の「平成27年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,262	20,641
受取手形及び売掛金	30,964	30,351
電子記録債権	1,529	1,471
商品及び製品	4,975	4,975
仕掛品	7,355	7,408
原材料及び貯蔵品	5,804	5,873
その他	7,557	7,153
貸倒引当金	△159	△192
流動資産合計	78,289	77,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,953	18,733
機械装置及び運搬具（純額）	17,793	18,116
その他（純額）	10,144	10,578
有形固定資産合計	46,892	47,429
無形固定資産		
のれん	4,331	3,970
その他	1,899	2,217
無形固定資産合計	6,231	6,188
投資その他の資産		
投資有価証券	19,924	21,183
その他	5,360	5,330
貸倒引当金	△254	△254
投資その他の資産合計	25,030	26,259
固定資産合計	78,154	79,876
資産合計	156,443	157,559

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	8,235	6,933
電子記録債務	1,456	6,977
短期借入金	12,609	13,429
未払法人税等	3,052	3,010
賞与引当金	2,060	2,705
その他の引当金	369	72
その他	19,718	13,468
流動負債合計	47,502	46,595
固定負債		
長期借入金	20,907	21,217
退職給付に係る負債	11,562	11,324
引当金	322	333
その他	1,362	850
固定負債合計	34,154	33,726
負債合計	81,657	80,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,490	10,490
資本剰余金	11,503	11,532
利益剰余金	41,821	46,779
自己株式	△940	△856
株主資本合計	62,875	67,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	500	453
為替換算調整勘定	4,565	2,762
退職給付に係る調整累計額	△1,922	△1,702
その他の包括利益累計額合計	3,143	1,512
非支配株主持分	8,767	7,777
純資産合計	74,786	77,237
負債純資産合計	156,443	157,559

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	66,816	72,099
売上原価	49,380	51,880
売上総利益	17,435	20,219
販売費及び一般管理費	10,932	11,896
営業利益	6,503	8,322
営業外収益		
受取利息	148	175
受取配当金	32	19
持分法による投資利益	994	679
為替差益	66	468
その他	464	697
営業外収益合計	1,706	2,041
営業外費用		
支払利息	311	248
寄付金	109	100
製品補償費	231	—
その他	102	91
営業外費用合計	754	440
経常利益	7,454	9,923
特別利益		
固定資産売却益	14	2
負ののれん発生益	18	—
その他	9	—
特別利益合計	42	2
特別損失		
固定資産売却損	10	6
固定資産除却損	28	32
その他	12	—
特別損失合計	50	39
税金等調整前四半期純利益	7,447	9,886
法人税等	2,603	3,287
四半期純利益	4,843	6,598
非支配株主に帰属する四半期純利益	383	432
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,459	6,165

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	4,843	6,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	117	△19
為替換算調整勘定	1,341	△2,310
退職給付に係る調整額	229	216
持分法適用会社に対する持分相当額	14	62
その他の包括利益合計	1,703	△2,049
四半期包括利益	6,547	4,548
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,871	4,535
非支配株主に係る四半期包括利益	675	13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	舶用業界 向け事業	航空宇 宙・光工 学業界向 け事業	合計	調整額	四半期連 結損益計算 書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	41,639	15,697	6,164	3,314	66,816	—	66,816
セグメント間の内部売上高 又は振替高	154	74	2	4	234	△234	—
計	41,793	15,771	6,167	3,318	67,051	△234	66,816
セグメント利益又は損失(△)	4,709	789	1,188	△192	6,495	7	6,503

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額7百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	自動車・ 建設機械業 界向け事業	一般産業 機械業界 向け事業	舶用業界 向け事業	航空宇 宙・光工 学業界向 け事業	合計	調整額	四半期連 結損益計算 書計上額
売上高							
外部顧客への売上高	43,018	17,003	7,745	4,333	72,099	—	72,099
セグメント間の内部売上高 又は振替高	78	80	9	0	167	△167	—
計	43,096	17,083	7,754	4,333	72,267	△167	72,099
セグメント利益	4,372	1,943	1,971	14	8,301	20	8,322

(注) 1. セグメント利益の調整額20百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。